

THE RECORD

RIAJ 社団法人 日本レコード協会

平成8年2月1日発行

RECORDING INDUSTRY ASSOCIATION OF JAPAN

〒104 東京都中央区銀座7-16-3 Tel (3541) 4411 (代)

平成8年2月号 No. 435



音楽文化を守ろう！レコード、CDの再販制度を擁護しよう
音楽文化懇談会 再販擁護決起大会 '96

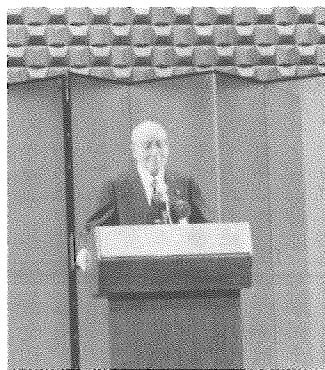
年が明けて、1月8日(月)午後1時30分より、東京港区のキャピトル東急ホテル「真珠の間」において、音楽文化懇談会主催による「再販擁護決起大会」が「音楽文化を守ろう！レコード、CDの再販制度を守ろう！」のスローガンのもと、盛大に開催されました。

これは、昨年末、再販問題が俄かに緊迫した状況を迎えたのを鑑み、音楽文化懇談会で協議の上、急遽、

音楽文化懇談会 再販擁護決起大会'96開催

当協会の新年会の冒頭を、「再販擁護決起大会」の場とし、開催されたものです。櫻内義雄音楽議員連盟会長、島村文部大臣(当時)をはじめとした関係国会議員、関係諸官庁、音楽文化懇談会構成10団体の代表者、関係者等、八〇〇名近い方々にご出席いただきました。

大会は、音楽文化懇談会の構成10団体の代表の方々が壇上に集い、松尾代表幹事の挨拶にはじまり、矢島日本レコード商業組合理事長の音頭で「音楽文化を守ろう！レコード、CDの再販制度を守ろう！」のシュプレヒコール、また、来賓の国会議員の方々からも、日本の音楽文化に



て再販擁護総決起大会を開催する予定です。

なお、ご出席いただきました国会議員14名の方のお名前は以下の通りです。(敬称略・五十音順)

荒木清寛、伊藤公介、江田五月、大久保直彦、大口善徳、小野清子、聴涛弘、斎藤文夫、櫻内義雄、島村宜伸、中野寛成、鳩山邦夫、浜四津敏子、村上誠一郎



おけるレコード、CDの再販制度の意義、必要性、再販制度の支持を訴える力強いお言葉を多数頂戴いたしました。

会は約40分間に亘り熱気を帯びたものとなり、最後はJASRAC加戸理事長の大会2回目のシュプレヒコールで幕を閉じました。

また、音楽文化懇談会では、2月22日にも、音楽業界関係者一、三〇〇名を一堂に会し、東京都千代田区の日本都市センタービル大ホールに

音楽議員連盟

第19回緊急総会開催

昨年12月13日、東京港区のキャピトル東急ホテルにて、超党派の国會議員78名で組織される音楽議員連盟（櫻内義雄会長）による第19回緊急総会が、レコード、音楽用CDの再販制度の存続問題を緊急課題として開催され、その結果、「音楽用CDを含む『著作物の再販価格維持制度』の撤廃に反対する決議」が採択されました。以下にその決議の全文を掲載します。



音楽用CDを含む「著作物の再販価格維持制度」の撤廃に反対する決議

平成7年12月13日

音楽議員連盟 緊急総会（第19回）

一、行政改革委員会規制緩和小委員会及び公正取引委員会において検討が進められている著作物の再販価格維持制度の撤廃については、以下に列挙の如く、我国の音楽文化の発展を著しく阻害するおそれ

があり、強く反対する。

1、再販の撤廃により、市場における価格競争が熾烈化し、純邦楽、クラシック等、文化的価値が高い商品が発売されにくくなり、又、一般商品においても、売れ筋商品のみが注がれ、新譜制作が減少し、可能性を秘めた新人作家、新人アーティストの育成・輩出が難しくなる。

2、再販の撤廃により、地方の消費者は都市部の消費者に比べ割高な商品の購入を強いられる等、文化的な格差を生じることとなるが、これは、昨年成立した『音楽文化の振興のための学習環境の整備等に関する法律』の制定趣旨にも反し、容認できない。

二、著作物としての音楽は、活字著作物に劣らず人々の精神生活に深く関わっており、特に次世代を担う若者に与える影響は、活字のそれをしのぐものがある。再販問題への対応にあつては、決して「音楽」と「活字」を差別して扱うことがあつてはならない。

以上

平成9年度

新年会開催

1月8日、音楽文化懇談会の「再販擁護決起大会」の後を受けて、同会場にて、恒例となりました当協会新年会が、盛大に催されました。

JASRAC遠藤実会長の再販擁護の御挨拶を交えた力強い乾杯の音頭が始まり、決起大会の熱気の余韻を残しながらも、ご出席の方々が新年の挨拶を交わしあう交歓の場に相應しい晴れやかな新年会となりました。

なお、来年、平成9年の新年会は1月7日（火）午後1時半より、同じキャピトル東急ホテルにて行われる予定です。



音の日記念

第2回「日本プロ音楽録音賞」授賞式開催

昨年12月6日、東京原宿の東郷記念館パシフィックホールにて、(社)日本音楽スタジオ協会、(社)日本レコード協会、(社)日本オーディオ協会、日本放送協会主催、(社)日本民間放送連盟協賛による第2回「日本プロ音楽録音賞」の授賞式が行われました。

同賞は、音創りを通じて、音楽とオーディオ文化の向上に努めるレコーディングエンジニアの地位の確立を目的としたもので、音楽制作及び録音に対する一般ユーザーの認識を高めるとともに、音楽とオーディオ産業のソフト分野における一層の技術の向上を目指すものです。
受賞作品、受賞者は以下の通りです。

「優秀録音賞」

●パッケージメディア・オーディオアコースティック部門(クラシック、ジャズ、純邦楽等生楽器を中心としたもの)
・クラシック
服部文雄
『ゴダイゴ…無伴奏チェロソナタ』から同曲 長谷川陽子/ビクターエ
ンタテインメント株式会社

・ポップス

村川大介、坂本清、田中三三
『なーらび』から「恋くがり節」ネ
ーネーズ/株式会社ソニー・ミュー
ジックエンタテインメント

●パッケージメディア・オーディオ
ノンアコースティック部門(ロック、
ポップス等の電子楽器を中心とした
もの)
鈴木孝一、西沢匠司、洪澤賢、安藤
明

『Dear..』から「Because」白鳥英
美子/キングレコード株式会社
三浦瑞生、加納洋一郎、原田光晴
『メディスン・ホイール』いしだ竜
成/株式会社イーストウエスト・ジ
ヤパン

●放送作品部門(A.M・F.Mラジオ、
衛星放送、地上波テレビ)
森慶一郎、松本城次、柳原久美子
『ベルリオーズ・レイイェム』小澤
征爾指揮/ポストン交響楽団・NH
K F M (94年12月10日生放送)
(敬称略)

カラオケ教室の不法録音カラオケテープ対策の実施

カラオケ教室やカラオケ喫茶等での不法録音カラオケテープ販売の撲滅のため、日本音楽著作権協会、日本芸能実演家団体協議会、日本レコード協会の3団体は、平成5年から共同で著作権啓蒙活動を続けておりますが、本年度はカラオケ教室等の業者だけではなく、そこに通う生徒の方々にも著作権を理解して貰いたいとの目的から、今、演歌が泣いています」とのキャッチフレーズを掲げて、1月8日付スポーツ紙に全5段の告知広告を掲載しました。
また、3団体では、このような啓蒙活動の他、悪質なカラオケ教室に関する情報が入り次第、警告書の送付、調査員の派遣など積極的な対策を今後行うことになっていきます。

■社長交替について

当協会会員社のトーラスレコード(株)において、平成7年12月21日付で社長の交替がありましたのでお知らせします。(敬称略)

新任…舟木 稔
退任…五十嵐泰弘
五十嵐氏は代表取締役社長を退任

し、会長職に就任されました。

■関係官庁人事異動

当協会関係官庁において、以下のように入人事異動が発令されましたので、お知らせいたします。(敬称略)

記

◎文化庁(1月9日付)

長官 吉田 茂(前文部省高等教
育局長)

前長官遠山敦子氏は、非常勤の文部省顧問に就任されました。

■事務局人事

当協会事務局人事が以下のとおり発令されましたので、お知らせいたします。

記

平成7年12月1日付

著作権部部长代理 中村正勝
(ビクターエンタテインメン
ト(株)より出向)

■福岡調査室移転

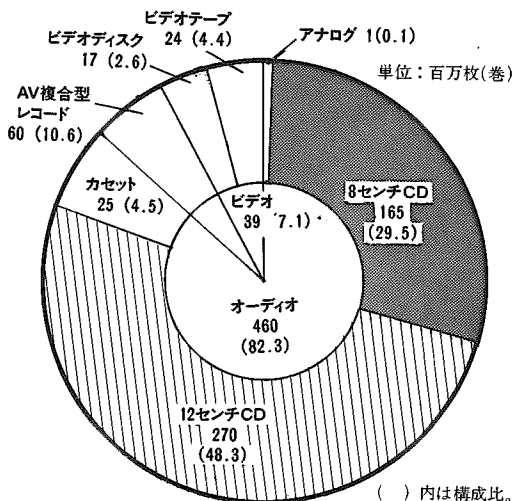
当協会福岡調査室は、以下の住所に移転し、平成7年12月16日より業務を開始しておりますのでお知らせいたします。

記

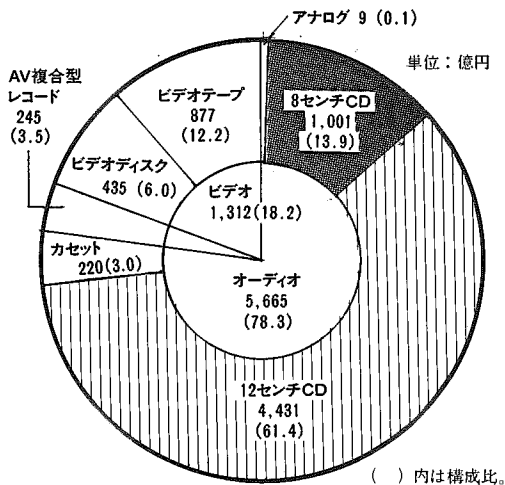
〒812 福岡県福岡市博多区博多駅前
2-4-30 いわきビル6F 603号室
TEL 092-475-1364
FAX 092-475-1177

1995年レコード生産実績

●レコード生産数量



●レコード生産金額



1995年(1~12月)のレコード生産実績の概況がまとまりました。

オーディオ、AV複合型、ビデオを合わせた総生産数量では、前年比118%の5億5,906万3,000枚・巻、総生産金額で前年比108%の7,221億8,100万円と、それぞれ大幅に伸長し、過去最高を記録しました。

また、昨年、僅かに前年割れとなったオーディオレコード(CD、アナログディスク、オーディオテープ)の生産数量は、前年比112%の4億6,015万7,000枚・巻と大幅な伸びを示し過去最高だった一昨年を上回り、総生産金額では、前年比109%の5,665億2,400万円となっています。

メディア別では、昨年、数量、金額共減少した8cmCDが、数量で前年比119%の1億6,458万1,000枚、金額でも前年比114%と初めて1,000億円を突破、1,005億6,500万円と大きな伸びを示しました。12cmCDも、数量で前年比112%の2億7,001万1,000枚、金額で前年比110%の4,430億9,600万円と、昨年を上回る高い伸びを示しました。この結果、CDの生産数量は前年比114%となり初めて4億枚を突破、4億3,459万2,000枚となり、生産金額でも前年比110%と初めて5,000億円を突破、5,436億6,100万円となりました。なお、洋盤12cmCDの伸びも著しく、数量ベースで初めて1億枚を突破しました。オーディオテープは、7年連続で前年割れとなり、レコードの総生産金額に占める割合は約3%となりました。アナログディスクも昨年同様前年割れとなりました。

CD-ROM、CD-G等を含む複合型CDは伸長著しく、数量ベースで前年同期比225%の5,953万5,000枚となりました。

第10回日本ゴールドディスク大賞授賞式の日程決まる

本年度第10回を迎える当協会主催の「日本ゴールドディスク大賞」授賞式の日程が決定致しましたのでお知らせ致します。

日時…3月12日(火)

開場午後7時…開演午後8時

場所…NHKホール

(東京都渋谷区)

放送予定…NHK衛星第2

3月12日(火)

午後7時～午後9時15分

NHK総合

3月23日(土)

午後7時30分～午後8時44分

また、今回、10周年記念キャンペーンとして、特賞・現金100万円が2名、1等・10万円分の音楽ギフトカードが10名、2等・1万円分の音楽ギフトカードが10名に当たるクイズを実施しています。当選発表は3月23日朝日新聞朝刊全国版に掲載される予定です。

なお、現在、日本ゴールドディスク大賞委員会審査部会では、各賞の決定作業を進めています。

日本レコード協会ヒットチャートデータによるランキング

平成7年12月度(11月21日~12月20日)のヒットチャートデータがまとまりました。これによる各ランクの5位までは次のとおりです。

順位	タイトル	アーティスト	発売元
■邦楽・洋楽合同シングル 5位			
1.	Chase the Chance	安室奈美恵	(AVT)
2.	ゲレンデがとけるほど恋したい	広瀬香美	(V)
3.	TO LOVE YOU MORE	セリーヌ・ディオン with クライズラー&カンパニー	(SME)
4.	Same Side	WANDS	(BG)
5.	Happening Here/teens	trf	(AVT)
■洋楽シングル 5位			
1.	TO LOVE YOU MORE	セリーヌ・ディオン with クライズラー&カンパニー	(SME)
2.	青春の輝き/ トップ・オブ・ザ・ワールド	カーペンターズ	(PO)
3.	ため息つかせて	ホイットニー・ヒューストン	(BV)
4.	ワン・スウィート・デイ/ オープン・アームズ	マライア・キャリー	(SME)
5.	イヌのジングルベル	ジングル・ドッグ	(FUN)
■邦楽・洋楽合同アルバム 5位			
1.	LOOSE	B'z	(BM)
2.	evergreen	MY LITTLE LOVER	(TF)
3.	BACK BEATS #1	大黒摩季	(BG)
4.	KATHMANDU	松任谷由実	(TO)
5.	BRAND NEW TOMORROW	trf	(AVT)
■クラシックアルバム 5位			
1.	アダージョ:カラヤン	ヘルベルト・フォン・カラヤン 指揮/ウィーンP.O	(PO)
2.	SERI~武満徹ポップスソングス	石川セリ	(C)
3.	MAXクラシック	オムニバス	(SME)
4.	「不滅の恋~ベートーヴェン」	オリジナル・サウンドトラック	(SME)
5.	ピエ・イエス~安息の日	オムニバス	(PO)
■洋楽アルバム 5位			
1.	アンソロジー I	ザ・ビートルズ	(TO)
2.	BOW WOW! Super Hits Collection	ヴァリアス	(PO)
3.	青春の輝き~ ベスト・オブ・カーペンターズ	カーペンターズ	(PO)
4.	ラヴストーリーズ・ スペシャル・エディション	セリーヌ・ディオン	(SME)
5.	MEGA HITS~Party	スキヤットマン・ジョン 他	(BV)

※日本コロムビア(C)/ビクターエンタテインメント(V)/キングレコード(K)/テイテク(TE)/ポリドール(PO)/東芝EMI(TO)/日本クラウン(CR)/徳間ジャパン(TJC)/ソニー・ミュージックエンタテインメント(SME)/マーキュリー・ミュージックエンタテインメント(MME)/ポニーキャニオン(PC)/ワーナーミュージック・ジャパン(WJ)/アポロン(AP)/フォーライフレコード(F)/バップ(VAP)/トラスレコード(TA)/ポリスター(PS)/アルファレコード(AL)/キティエンタープライズ(KT)/ファンハウス(FUN)/イーストウエスト・ジャパン(EW)/BMGビクター(BV)/NECアベニュー(NA)/WEAミュージック(WEA)/メルダック(ME)/ハミングバード(HB)/TDKコア(TDK)/メディアレモラス(MR)/AXEC(AK)/トイズ・ファクトリー・レコード(TF)/バンダイ(BD)/パイオニアLDC(PI)/MCAビクター(MV)/ロッキットレコード(RO)/エイベックス・ティーン・ティーン(AVT)/ピージーン(BJ)/ヴァインレコード(VA)/ルームスレコーズ(BM)/ビークラム(BG)/ワン・アップ・ミュージック(EP)

12月度「ゴールド・アルバム」他認定作品

12月度のゴールド・アルバム他が次のとおり認定されました。

■アルバム(42作品)

●2ミリオン

LOOSE/B'z (BM)
evergreen/MY LITTLE LOVER (TF)
LOVE GOES ON...
/DREAMS COME TRUE (SME)

●クワッドラブル・プラチナ

BACK BEATS#1/大黒摩季 (BG)

●トリプル・プラチナ

KATHMANDU/松任谷由実 (TO)
トレジャーズ/山下達郎 (EW)
DANCE TRACKS VOL.1/安室奈美恵 (TO)
クアター・サン・ラヴ/ダイアナ・キング (SME)

●ミリオン

beauty and harmony/吉田美和 (SME)
勝負師(キャンプラー)/シャ乱Q (BV)
BRAND NEW TOMORROW/trf (AVT)
MARTINI II/鈴木雅之 (SME)
スキヤットマンズ・ワールド/スキヤットマン・ジョン (BV)

●ダブル・プラチナ

ラヴ・ストーリーズ・スペシャル・エディション
/セリーヌ・ディオン (SME)
1962年~1966年/ザ・ビートルズ (TO)
1967年~1970年/ザ・ビートルズ (TO)
アンソロジー1/ザ・ビートルズ (TO)
青春の輝き~ベスト・オブ・カーペンターズ
/カーペンターズ (PO)
BOW WOW! Super Hits Collection
/ボン・ジョヴィ 他 (PO)

●プラチナ

安全地帯BEST I LOVE YOUからはじめよう
/安全地帯 (KT)
MIRACLE DIVING/JUDY AND MARY (SME)
Sand Castle/浜田省吾 (SME)
MEGA HITS~Party/スキヤットマン・ジョン 他 (BV)
Christmas MAX/ワム! 他 (SME)
デザイン・オブ・ア・ディケイド/ジャネット・ジャクソン (PO)

●ゴールド

Let Me Roll it./L→R (PC)
BOO/SMAP (V)
LOVE TOGETHER/広瀬香美 (V)
太陽の少年/徳永英明 (AP)
SORRY MUSIC ENTERTAINMENT
/米米CLUB (SME)
69 96/コーネリアス (PS)
THE BLUE HEARTS SUPER BEST
/THE BLUE HEARTS (MC)
CATALOGUE 1987-1995./BUCK-TICK (V)
ため息つかせて/オリジナル・サウンドトラック
/ホイットニー・ヒューストン 他 (BV)
ザ・ブリッジ/エイス・オブ・ベース (BV)
STARS 2000/C.J.ルイス 他 (MV)
LOVE SONGS/エルトン・ジョン (MME)
ロクセット・グレイテスト・ヒッツ!/ロクセット (TO)
つづれおり/キャロル・キング (SME)
ガイア/ヴァレレンシア (MME)
脳殺/パンテラ (EW)
インソムニアック/グリーン・デイ (WJ)

■シングル(19作品)

●クワッドラブル・プラチナ

TOMORROW/岡本真夜 (TJC)
TO LOVE YOU MORE/セリーヌ・ディオン
withクライズラー&カンパニー (SME)

●トリプル・プラチナ

青春の輝き/トップ・オブ・ザ・ワールド
/カーペンターズ (PO)

●ダブル・プラチナ

My Babe 君が眠るまで/シャ乱Q (BV)
碧いうさぎ/酒井法子 (V)
ゆずれない願い/田村直美 (PO)

●プラチナ

ゲレンデがとけるほど恋したい/広瀬香美 (V)
言えないよ/郷ひろみ (SME)
Chase the Chance/安室奈美恵 (AVT)
MUSIC FOR THE PEOPLE/V6 (AVT)
DESIRE/LUNA SEA (MV)

●ゴールド

シン ジングルベル/森高千里 (WJ)
グメ! 篠原涼子 (SME)
捨てられて/長山洋子 (V)
ナウ ロマンティック/KOJI 1200 (FL)
Happening Here/teens/trf (AVT)
冬のファンタジー/COUSIN (SME)
Same Side/WANDS (BG)
LOVE FOREVER/DEEN (BG)

著作権関連法の執行延期

■イギリス

同国では、4つの新法実施に向けて準備が進められていますが、協議過程で議論がなかった法案はありませんでした。

英国は、保護期間の調和に関するEU指令に基づき、保護期間を50年から70年に延長しましたが、この前向きの改正でさえ、批判を避けることはできませんでした。

1993年10月に欧州首脳会議で指令が合意されたことを受け、昨年12月に法律が公表されました。

また、別の法律は、「偽造品の売り上げから得た利益を犯罪者から没収する権限を行政官に権限を与える」もので年頭から実施されています。

英国レコード協会(BPI)は、裁判所に海賊版等の押収を要求できるようになるため、この改正を歓迎しています。

もう一つの法律は制定が待たれているものです。著作権と実演家の権利に関する1995年法(レンタル指令)は、協議過程を経て、改正案が待たれています。この法律は、初めて実演家に放送収入を認めるもので、分配率の規定はありませんが、レコード会社とアーティスト側は、徴収額の50%ずつの分配率を合意しています。

EUレンタル指令は、1994年1月までに加盟国国内法の成立を要求していましたが、既に2年遅れているため、実演家サイドは、この2年分の収入の損失は法的に補償されるべきだと主張しています。

この改正案(協議中)は、議会の議論を必要としない形で発表さ

れましたが、レコード業界は、本案から欠落している部分が議会で議論されることを望んでいました。

4つ目の法律は放送法案ですが、長年業界が望んでいたラジオとテレビ放送の公演権の新条項を含んでいませんでした。パブやカフェで、レコードをかければ使用料が発生しますが、ラジオ音楽放送をそのまま流した場合、使用料は発生しません。

BPIとPPL(公演料徴収団体)は、この権利が新放送法案に規定されていないため、権利獲得のためのロビー活動をしています。

(’96.1.20 B.B)

■イタリア

120億ドルの規模を有する欧州レコード産業は、世界第5位のイタリア海賊版市場の増大に歯止めを掛けるための方策を講じています。

IFPI(国際レコード産業連盟)とFIMI(イタリアレコード協会)は、海賊対策キャンペーンの展開のため、海賊対策組織(FPM)の業務を今月開始します。

この4年間劇的に海賊版が増え、レコード市場の1/3を占める違法製品による損失は、年間1億5千万ドルになります。

IFPI、FIMIと6大レーベルは、海賊対策事務所に100万ドルを投資します。FPMは、海賊版犯罪ネットワークを追跡し、証拠を行政官に渡し、違法行為を終結させ、必要に応じて大量起訴を行います。

海賊版問題の第一人者のマッサ氏が、FPMの新事務局長になりました。

問題の規模

同国海賊版はEU全体(4,700万

枚・巻)の44%を占め、1991~94年の間に海賊版数は3倍の1億4,200万ドルに増加し、同期間の正規品市場は6.71億ドルから5.35億ドルに減少。この間、他のEU諸国の市場は9%伸長。EU全体における同国シェアは、1991年の7%から1994年5%へ。同国で販売されるレコードのうち1/3以上をしめるカセットのうち海賊版は50%、海賊版CDは20%。全カセットの60%を占める海賊版が国内レパトリーであるため、イタリアの実演家には、深刻な問題である。昨年、同国のブートレグCDの輸出は1,500万枚と推測され、この海賊カセットは、EU単一市場と国際貿易にとって極めて重大問題である。

イタリアで海賊版が氾濫する理由

IFPIは、同国で海賊版が氾濫する理由を法律執行力の脆弱さと情報の不足とする。例えば、IFPIは昨年5つの海賊版問題を起訴したが、判決まで最低5年を要すると考えられる。ブートレグについては、作家団体が許諾を協力的に禁止しなければ、法律改正も役に立たない。また、組織化された海賊版犯罪の利益は麻薬貿易を増長し、内部情報は限られている。イタリア北部の海賊版の割合は40%、南部では26%。違法製品の多くは、露店や零細な店で販売されている。

海賊対策キャンペーン

同国での業界の海賊対策は、1980年代後半に劇的な成功を遂げたスペインをモデルとする。1984年のスペイン海賊版の割合は35%で、業界の対策と著作権法の強化で5年で5%に減少。現在、スペインの海賊版は殆どない。

(IFPIプレス’96.1.10)

会議メモ(主なもの)

(1月5日~1月31日)

- 1・8 新年会
- 1・10 著作権部会
- 1・10 レコード制作基準倫理委員会
- 1・10 Q盤プロジェクト

- 1・16 JASRAC委員会
- 1・17 業務委員会
- 1・17 宣伝部会
- 1・17 洋楽部会
- 1・17 洋楽企画専門部会
- 1・18 技術専門部会合同会議
- 1・19 営業部会
- 1・23 邦楽制作部会
- 1・23 洋楽宣伝専門部会

- 1・24 情報システム部会
- 1・24 ビデオ部会
- 1・24 再販プロジェクト
- 1・25 ISRCDBプロジェクト
- 1・26 理事会
- 1・29 GD審査部会
- 1・29 消費者専門部会
- 1・31 GD審査部会

1995年12月レコード生産実績

数量：千枚・巻
単位
金額：百万円

表1. オーディオディスク

	12月 実績						1995年(1月~12月) 累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
C	邦洋計	11,634	32	92	5,598	12	70	160,141	37	119	98,602	18	114
	邦洋計	767	2	88	307	1	83	4,440	1	117	1,963	0	102
D	邦洋計	12,401	34	92	5,905	12	71	164,581	38	119	100,565	18	114
	邦洋計	15,494	42	119	28,765	60	126	165,919	38	109	288,426	53	108
	邦洋計	8,926	24	95	13,076	27	93	104,092	24	117	154,671	28	114
	邦洋計	24,420	66	109	41,840	87	114	270,011	62	112	443,096	81	110
アナログ	邦洋計	27,128	74	106	34,363	72	112	326,060	75	114	387,027	71	109
	邦洋計	9,693	26	94	13,382	28	93	108,532	25	117	156,634	29	114
合計	邦洋計	36,821	100	102	47,745	100	106	434,592	100	114	543,661	100	110
	邦洋計	22	0	75	42	0	131	305	0	128	435	0	126
邦洋計	邦洋計	36	0	53	67	0	48	229	0	60	446	0	61
	邦洋計	58	0	59	109	0	63	534	0	86	881	0	82
合計	邦洋計	27,151	74	106	34,405	72	112	326,365	75	114	387,463	71	109
	邦洋計	9,729	26	94	13,450	28	92	108,761	25	117	157,080	29	113
合計	邦洋計	36,880	100	102	47,854	100	106	435,126	100	114	544,542	100	110

表2. オーディオテープ

	12月 実績						1995年(1月~12月) 累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
カセット	邦洋計	2,225	99	75	1,958	99	80	24,735	99	84	21,676	99	85
	邦洋計	26	1	132	25	1	93	296	1	72	306	1	63
カートリッジ	邦洋計	2,251	100	75	1,984	100	80	25,031	100	84	21,982	100	85
	邦洋計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	邦洋計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	邦洋計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	邦洋計	2,225	99	75	1,958	99	80	24,735	99	84	21,676	99	85
	邦洋計	26	1	132	25	1	93	296	1	72	306	1	63
合計	邦洋計	2,251	100	75	1,984	100	80	25,031	100	84	21,982	100	85

表3. 複合型CD (CDグラフィックス、CD-I、CD-ROMなど)

	12月 実績						1995年(1月~12月) 累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
邦洋計	8,263	100	233	3,752	96	164	59,318	100	225	23,986	98	106
邦洋計	37	0	256	140	4	462	217	0	222	464	2	296
合計	8,300	100	233	3,892	100	168	59,535	100	225	24,450	100	108

表4. ビデオレコード

	12月 実績						1995年(1月~12月) 累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
ディスク	1,397	32	80	3,972	25	77	14,912	38	87	43,479	33	83
テープ	3,038	68	126	11,939	75	123	24,459	62	124	87,728	67	113
合計	4,435	100	106	15,911	100	107	39,371	100	106	131,207	100	101

表5. オーディオ/ビデオ/AV複合型レコード合計

	12月 実績						1995年(1月~12月) 累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	39,131	75	100	49,838	72	104	460,157	82	112	566,524	78	109
複合型CD	8,300	16	233	3,892	6	168	59,535	11	225	24,450	3	108
ビデオ	4,435	9	106	15,911	23	107	39,371	7	106	131,207	18	101
合計	51,866	100	111	69,642	100	107	559,063	100	118	722,181	100	108

備考 1. 本年実績は、会員会社「30社」の集計である。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

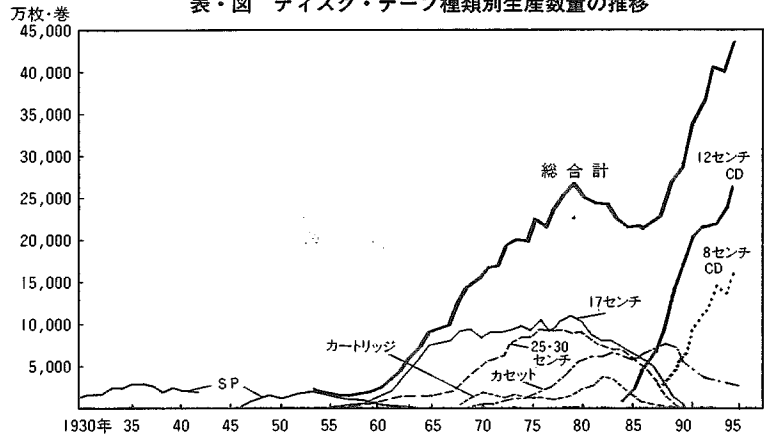
本号は、オーディオレコードの生産数量の推移を図と表により紹介します。

レコード生産数量の推移

単位：千枚・巻

西 暦	S P
1930(昭 5)	14,400
1931(昭 6)	16,895
1932(昭 7)	17,016
1933(昭 8)	24,675
1934(昭 9)	25,731
1935(昭10)	28,927
1936(昭11)	29,638
1937(昭12)	26,409
1938(昭13)	19,634
1939(昭14)	24,385
1940(昭15)	20,928
1941(昭16)	19,714
1942(昭17)	17,085
43~45(18~20)	<不明>
1946(昭21)	6,420
1947(昭22)	8,847
1948(昭23)	11,962
1949(昭24)	16,860
1950(昭25)	11,828
1951(昭26)	14,904
1952(昭27)	17,806
1953(昭28)	19,357
1954(昭29)	15,896
1955(昭30)	12,781
1956(昭31)	11,540
1957(昭32)	9,877
1958(昭33)	8,520
1959(昭34)	5,536
1960(昭35)	3,078
1961(昭36)	1,976
1962(昭37)	584
1963(昭38)	25
1964(昭39)	
1965(昭40)	
1966(昭41)	
1967(昭42)	
1968(昭43)	
1969(昭44)	
1970(昭45)	
1971(昭46)	
1972(昭47)	
1973(昭48)	
1974(昭49)	
1975(昭50)	
1976(昭51)	
1977(昭52)	
1978(昭53)	
1979(昭54)	
1980(昭55)	
1981(昭56)	
1982(昭57)	
1983(昭58)	
1984(昭59)	
1985(昭60)	
1986(昭61)	
1987(昭62)	
1988(昭63)	
1989(平 1)	
1990(平 2)	
1991(平 3)	
1992(平 4)	
1993(平 5)	
1994(平 6)	
1995(平 7)	

表・図 ディスク・テープ種類別生産数量の推移



	17センチ		25・30センチ		コンパクトディスク		カートリッジ	カセット	オープン・リール	総合計
	33回転	45回転	33回転	45回転	8センチ	12センチ				
1949										19,409
1950				52						16,560
1951		455	209							14,500
1952		1,172	547							14,938
1953		2,379	1,019							15,587
1954		3,889	1,821							17,201
1955	0	5,417	3,264							19,389
1956	0	8,726	5,127							24,004
1957	73	13,530	7,323							32,822
1958	765	19,428	10,653							43,738
1959	2,765	26,927	13,462							59,595
1960	6,606	39,234	13,730							73,813
1961	9,012	50,954	13,847							90,934
1962	14,693	61,887	14,354							94,490
1963	15,285	63,063	16,142							100,100
1964	15,686	65,338	18,863	213						126,762
1965	16,968	75,489	27,757	217			5,529	631	171	147,422
1966	16,712	78,473	38,332	55			12,394	1,250	206	155,875
1967	11,749	71,704	50,095	7			18,338	3,790	192	171,289
1968	10,453	81,414	58,443	1			14,844	5,837	297	172,594
1969	8,004	82,909	61,137	0			13,535	6,770	239	198,700
1970	6,997	86,744	78,520	0			15,606	10,591	242	205,714
1971	6,735	91,166	83,758	0			12,790	11,154	111	203,665
1972	6,307	86,399	84,665	0			12,160	14,090	44	231,341
1973	5,548	99,543	94,599	62			11,388	20,187	14	218,745
1974	5,896	85,759	92,189	219			9,055	25,612	15	242,788
1975	4,801	98,283	93,012	132			11,699	34,855	6	260,113
1976	4,036	106,302	88,346	120			15,087	46,220	2	274,908
1977	5,188	99,172	90,504	79			22,858	57,107	0	255,313
1978	2,756	84,929	80,383	466			26,152	60,627		249,520
1979	2,451	76,285	73,022	158			36,489	61,115		246,467
1980	2,569	76,649	69,049	469			33,113	64,618		228,595
1981	1,149	69,979	66,708	1,503		6,365	21,973	60,917		219,673
1982	1,180	60,959	58,057	4,320		20,638	13,826	60,694		222,041
1983	1,415	59,152	42,751	2,732		45,120	8,355	62,517		213,804
1984	818	45,432	25,996	1,749		64,992	5,893	68,925		234,490
1985	564	26,855	10,935	1,109	25,557	89,980	3,415	76,074		274,542
1986	910	6,770	2,182	194	47,094	143,424	1,666	72,301		290,494
1987	224	1,382	703	23	61,820	169,129	672	56,541		345,087
1988	9	87	885	1	88,776	210,497	254	44,579		373,142
1989	14	17	982	1	110,559	222,671	47	38,853		417,730
1990	0	76	766	0	153,795	227,756	4	35,333		410,450
1991			620		138,271	241,699	0	29,860		460,157
1992			534		164,581	270,011		25,031		

備考 数値は、四捨五入により内訳と合計が一致しない場合があります。

※アナログディスクは、94年から17センチと25・30センチの区分がなくなりました。